

2021年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

教員氏名	高橋 弘 (Takahashi Hiroshi)		職 位	特別任用 常勤講師	学 位	文学士 (英語英文)
	専門分野	英語教育				
研究課題	テーマ	大学生の英語教育と4技能を統括した実践英語力の向上				
	概要	実社会で使える基本的な英語技能の定着と持続可能な英語力の向上				
本年度 研究業績	研究費	総額： 22万 円 内訳：個人研究費 22万 円 / 科学研究費 円 そ の 他 円				
	研究テーマ	大学生の英語教育と4技能を統括した実践英語力の向上				
	経過と到達点	能率的な英語理解の方法と技能の習得（英語脳の形成）				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート等					
⑦学会での 口頭発表、 討論者（デ ィスカッサ ント）	能率的、実践的英語 学習の一考察：日本 語理解脳から英語理 解脳への転換を意識 した学習法	令和4年 3月9日		京都経済短期大学 経営情報学会研究 報告会	

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義		
	演習	ビジネス・イングリッシュⅠ	ビジネス・イングリッシュⅡ
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目		
	◆ 演習科目	<p>実社会、実生活で使える基本的な英語力を身につけるために、ビジネスに拘わるコミュニケーション場面を想定して、単に英語の表現を覚えることにとどまるのではなく、聞かれて答える、読んで考えを言う等の、聞く・話す・読む・書くの4技能を単独ではなく場面にあわせて組み合わせて学習させた。実践英語を身につけるために、英語脳(主語+動詞～:主語の次に結論が来て、説明が続く)で読み聞きする習慣を身につける訓練をした。また将来英語を武器にして活躍することを具体的な夢や目標を持っている学生や、他大学への編入試験を目指している学生に対しては、それぞれの夢や目標を実現させるための個々のニーズに合わせた力がつくように個別指導にも力を入れた。</p>	

	実習科目
	<p>◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）</p> <p>教科書の使用を基本としながら、学生が主体的に学習できるように適宜プリントを作成し理解や応用力の向上を図った。また昨今の課題である社会生活でのコミュニケーション能力不足も考えながら、学生に発話することの大切さと、わかりやすく相手に伝わる表現指導にも力を入れた。</p>

(1) 課外活動

①研修旅行 国内	
②研修旅行 国外	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長	
②委員・アドバイザー	

(2) 講演会

分 類	活動・講演の概要
③講演者・登壇者	

4. 特記事項（本年度のみ）

--